

会 議 録 ( 1 )

会 議 の 名 称	令和2年度 第5回 入間市廃棄物減量等推進審議会
開 催 日 時	令和2年10月29日(木) 午前10時00分 開会・午前11時50分 閉会
開 催 場 所	入間市リサイクルプラザ 2階研修室
議 長 氏 名	入間市廃棄物減量等推進審議会 会長 小林昌幸
出席委員(者)氏名	相葉学、奥山重信 木村哲弘 小林昌幸 篠塚玲子 多田ひとみ 手島吉紀 永井健一 沼井里恵 三木敏正 向野康宏 森谷秀一 山本有男 渡邊剛
欠席委員(者)氏名	小野吉雄
説明者の職氏名	環境経済部副参事(清掃指導・ごみ減量推進担当) 兼宮寺清掃センター所長 水村章一 株式会社日水コン 中村浩
会 議 次 第 (公 開)	1 開会 2 委嘱状交付 3 市長挨拶 4 委員自己紹介 5 職員自己紹介 6 正副会長選出 7 正副会長あいさつ 8 諮問事項に対する審議 (1) 入間市一般廃棄物処理基本計画の策定について (2) 入間市災害廃棄物処理計画の策定について 9 その他 10 閉会
非 公 開 理 由	
傍 聴 者 数	なし
配 布 資 料	資料 ・入間市一般廃棄物処理基本計画 ・新基本計画の基本方針について(別紙1) ・新基本計画の数値目標について(別紙2) ・新基本計画の個別施策について(別紙3) ・入間市災害廃棄物処理計画
事務局職員職氏名	環境経済部部长 長谷川功 環境経済部次長 西澤章 環境経済部参事兼総合クリーンセンター所長 小林正和 環境経済部副参事(清掃指導・ごみ減量推進担当) 水村章一 兼宮寺清掃センター所長 総合クリーンセンター(事務局) 主幹 松落義夫 主幹 山川博志 副主幹 平井素明
会議録作成方法	要点筆記

## 会 議 録 (2)

### 議 事 の 概 要 ( 経 過 ) ・ 決 定 事 項

#### ○委嘱状交付

令和2年10月1日から令和4年9月30日までが、新たな委員の任期となるため、新しい委員での最初の審議会のため、委嘱状の交付を行う。

#### ○正副会長の選出

引き続き会長に小林昌幸委員、副会長に奥山重信委員が選出され、承認された。

#### ○議題

諮問事項に対する審議

##### (1) 入間市一般廃棄物処理基本計画の策定について

「入間市一般廃棄物処理基本計画」を用いて一般廃棄物処理基本計画策定についてコンサルタント会社の㈱日水コンより説明を行なった。

##### (2) 入間市災害廃棄物処理計画の策定について

「入間市災害廃棄物処理計画」を用いて入間市災害廃棄物処理計画の策定について事務局より説明を行なった。

#### ○その他

- ・今後のスケジュールについて、11月に市役所職員の意見聴取、12月に市民への意見聴取、年明け2月に審議会を行い、答申をいただき完成となる旨の説明。しかし、審議不十分との委員から意見により11月に再度審議会を開催することに決定した。

以上

会 議 録 ( 3 )

発 言 者	発 言 内 容
<p>司会 (市長) 市長 各委員 各職員 (市長)</p> <p>小林会長 奥山副会長 小林会長</p>	<p>1 開 会 (配布資料の確認を含む。)</p> <p>2 委嘱状の交付 (市長より名簿順に交付)</p> <p>3 市長あいさつ</p> <p>4 委員自己紹介</p> <p>5 職員自己紹介</p> <p>6 正副会長選出 会長 小林昌幸委員 副会長 奥山重信委員に決定。</p> <p>7 正副会長あいさつ 会長あいさつ 副会長あいさつ</p> <p>8 議題 (諮問事項に対する審議)</p>
	<p>本日の出席委員の人数は、14名です。よって、「入間市廃棄物減量等推進審議会条例第6条第2項」の規定に基づき、委員の半数以上が出席していますので、会議は成立となります。</p> <p>続きまして、本日の会議録の署名について、議長のほかに1名以上ということですので名簿順で相葉委員にお願いしたいと思います。</p> <p>それでは議題に入ります。本日の議題は入間市一般廃棄物処理基本計画の策定について、入間市災害廃棄物処理計画についてを議題とさせていただきます。初めに入間市一般廃棄物処理基本計画について事務局より説明をお願いします。</p>
<p>(株)日水コン 小林会長 奥山副会長</p>	<p>(株)日水コンより内容説明)</p> <p>ただいま説明のありました事項にたいしまして、質問を受けます。</p> <p>P56平成29年度版と比較すると、小型家電のリサイクル事業の推進が削除されているが削除された理由はなにか。平成29年度には回収量が示されていたが、現状ではどのくらいの回収量なのかを確認したい。P71の用語解説に小型家電リサイクル法の説明が掲載されているにもかかわらず、表から削除されているのはなぜか。</p>
<p>事務局</p>	<p>小型家電に関しましては、平成30年度まで業者に買取りをしてもらってましたが、令和元年度から費用を払って処分することになりました。小型家電の収集方法は今までと変わらない方法で収集しております。これは、東京オリンピックのメダルプロジェクトによるもので、それが終了したため</p>

発 言 者	発 言 内 容
奥山副会長	す。 その説明では、納得できません。その下にある雑紙のリサイクルについては、推進となっており数値化できないものだと思われるので、推進と表記されたと思いますが、小型家電は出た量を測って数値が出せるにもかかわらず削除する理由がわかりません。
小林会長	この件につきましては、次の会までに説明できるようお願いします。他の質疑をお受けします。
奥山副会長	個別施策については、前回の計画書と内容がほとんど同じであるにもかかわらず、目標は推進、研究・検討という言葉がたくさん出てくるが、このようにしたらこうなったなど具体的なものがない。ごみの排出量が近年横ばいとなっている。それを減らすための個別施策であるが、それがほとんど変わらないのであれば前回の計画の反省がなされていないと受け取れる。例えばP54の学校教育との連携では社会体験チャレンジ校は1校ですが、平成29年度は3校となっている。目標では5校などに増えるべきではないか。その辺はどのように考えているのか
日水コン	今回の計画では、食品廃棄物と雑紙系を今まで以上に減らしていかなければならないと考える。この辺を推進していかなければならない。
奥山副会長	P56の高齢者へのごみ出し支援の検討について、平成29年と同じで研究となっている。5年経つがまだ研究なのか。
小林会長	言葉にして終わりではなく、どのようにするのかを今後の施策に反映していただきたい。
奥山副会長	10月のごみ減量推進月間で市役所などに横断幕や委託収集車のフロント部分にマイバックの推進を掲げたトラックが走っており、大変いいPRをしている。以前質問させていただいたが、年間の啓発費にいくぐらい使っているか聞いたところ年間140万程度ということでしたので、市民にももっとPRしてもらおうようお願いしたい。 市報も今年度から年間12回しか出なくなった。今年はすでに10回でしておりその内クリーンセンターにかかる記事が6回出ているように市報や自治会へ出向いてPRした方がいいのではないかと思います。
小林会長 手島委員	今いただいた意見を計画に反映できるよう検討していただきたい。 別紙1の18番施策から削減する方針には変わらないとしているが、計画の中では効果があるとも記述されている。回答の内容がよくわからないの

発 言 者	発 言 内 容
小林会長	で、もう少し詳しく説明願いたい。
向野委員	次回までに回答願いたい。他にございますでしょうか。
手島委員	P 5 6 の高齢者支援について、検討・研究とあるので、しっかり考えていただきたい。
手島委員	別紙3の再生紙利用促進とあるが、これでごみが減ると考えているのか。
小林会長	家庭で再生紙を使おうが、再生紙でない紙を使おうがごみの削減には直接関係のないように感じる。それから、事業系ごみが全く減らないのに施策が全く変わっていないのはいかがなのか。もっと真剣に取り組まなければごみは減らないと思われる。
小林会長	すぐに意見を反映することは難しいと思われるので、より現実的な視点での文言に変えるなどの検討をお願いします。
山本委員	目標のところ、継続・推進・研究などの言葉は使用しない方がいいのでは、現在どのようになっているかを議論した方がいいと思う。
木村委員	P 3 5 は別紙1の18番で、注釈としてではなく本文に入れてはどうか。
小林会長	P 4 7 に達成可能など記入があるが、本文に記載するのではないと思う。それから、人口は減っているが世帯数は増えている。この関係性について分析されたのか。
小林会長	再度検討されて次回までに回答いただきたい。
手島委員	本文中に同じような表がいくつか出てきているので、一つにまとめてはいかがか。それから、配布資料については、表紙に日付を入れるなど、表紙が同じなので、分かりにくい。
森谷委員	P 5 4 学校教育との連携では、現状では1校となっているが目標は継続ではなく10校などの数値を入れるべきである。あと2つ意見があるが、時間がないので、後日文章で送ります。
事務局	目標については、継続や推進などの表記ではなく、できるだけ数値化できるよう検討します。
小林会長	多くの意見があると思いますが、時間の都合もありますので、次の災害廃棄物処理計画に移ります。事務局説明願います。
事務局	(水村副参事より内容説明)
小林会長	それでは質疑をお受けします。
手島委員	P 2 2 の表の担当ごとの業務内容は初動時の説明をそのまま使っているようですが、この表と合わない。質問は市民にもこの計画は配るのですか。

発 言 者	発 言 内 容
事務局	来年度に印刷して公共施設等に置き市民の目に触れるようにするほか、市のホームページでも公開します。
手島委員	災害が起こってから市民が仮置き場がここだと知るよりは、事前にしていた方がいいと思うので、災害が起きる前に市民にアナウンスしておいた方がいいのではと思う。
山本委員	市民に配られる分けだし表の一部にこの計画の一部を入れてはどうか。
篠塚委員	P 5 の図に廻り方の表記を入れた方がいいのでは。
事務局	仮置き場の中に矢印を入れます。
手島委員	平常時に業者と調整して、業者との契約事務なのか指導・要請事務なのかどちらかにマークすべきではないか。それから、仮置き場は災害発生時から何日ぐらいで使えるようになるのかなどを表記してはどうか。
事務局	業者との調整については、できるようにしていきたい。また、仮置き場の使用時期については、表記したい。
小林会長	それでは、以上で座長を下ろさせていただきます。
司会	小林会長におかれましては、長時間に渡り議事の進行ありがとうございました。続きましてその他として、今後のスケジュールですが、11月に市役所庁内への意見聴取、12月に市民への意見聴取年が明けて2月に審議会を行い答申をいただき完成となります。次回は2月の審議会となりますので、よろしくご承知おきください。
森谷委員	そのほかに何か委員の方からありますか。
森谷委員	今日の審議会で十分に審議させたと思われないが、これで市民への意見徴収としてよろしいのか。もう一度、今日出た意見を反映いただいて再度審議した方がいいと思われる。
手島委員	私も同じ意見です。
小林会長	今後見直し等を含め、再度検討していただきたい。
事務局	今日いただいた意見をまとめまして、郵送で委員へお送りしますので、その後、意見をいただけないでしょうか。
森谷委員	このような審議会をもう一度開いていただけないか。
小林会長	再度よくご検討いただきどのようにするかをお知らせいただきたい。
司会	それでは、本日の会議を終了とさせていただきます。
	ご苦労さまでした。

